



アフガニスタン現地の様子



2020年に第6回食の新潟国際賞大賞を受賞

医師 中村 哲 と ペシャワール会の 軌跡と継承

— 荒野に希望の灯をともし —

「今命を救うのは100の診療所より1本の用水路だ」

中村哲氏は、35年にわたり医師として混乱と干ばつに苦しむアフガニスタンで医療救援活動から始まり、医師という立場を越えて井戸の掘削や用水路の建設に取り組み、緑地と農業を再生し、多くの命を救いました。

今、世界は分断化し自国ファーストの風潮が増す中、国境を越えた国際協力や支援活動が危機にさらされ、その意味と必要性が問い直されています。

中村哲氏と長年共に歩んできた盟友ともいべき藤田千代子氏をお招きして中村哲氏の信念と次代に託されたものをお聞きます。

日時 **2026年3月11日(水) 13:30~15:30**

会場 **日報ホール 新潟日報メディアシップ 2階 (中央区万代3-1-1)**

定員 **100名 (先着順・無料)**

講師 **藤田 千代子 氏**

ペシャワール会PMS支援室長



鹿児島県出身。徳洲会病院(福岡市)勤務を経て1990年9月、当時中村哲医師の赴任先であったパキスタン・ペシャワールのミッション病院へ看護師として赴任。以降、医療活動を始め、井戸掘り、食糧配給、その後の用水路事業等、一貫して中村医師の現地活動を支えてきた。

1998年日本の寄付でペシャワールに建てられたPMS基地病院(総院長 中村哲)では、院長代理の責務を果たした。2009年、現地の治安悪化のため退避帰国し、現在ペシャワール会PMS支援室室長およびPMS総院長補佐として、現地活動を支えている。

2022年、フローレンス・ナイチンゲール記章を受章。



講演会

お申込書

日時 2026年3月11日（水）13：30～15：30

会場 日報ホール：新潟日報メディアシップ 2階（先着順・入場無料）

お申込み方法

- 必要事項（氏名・所属・住所・電話番号）を記入して2026年3月4日（水）までにEメール（info@niigata-award.jp）にてお申込みください。FAXでのお申込みも受付けております（下記お申し込み記入欄）。
- 先着100名で定員になり次第、締切とさせていただきます。超過の場合のみご連絡いたします。
- 入場整理券は発行いたしません。当日直接会場受付へお越しください。（13時～受付開始）
- ご記入いただいた個人情報は、当財団主催事業の開催のご紹介などに使用させていただきます。
- 発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方、体調に不安がある方はご来場をお控えください。
- 社会情勢等の変化により、講演会の変更または中止する場合があります。ご了承ください。

FAX用 お申し込み記入欄

個人・会社・団体名 (必須)			
住所 (必須)	〒		
電話番号 (必須)		FAX	
メールアドレス			
参加者氏名 (会社・団体の方は必須、複数可)	所属・役職 (会社・団体の方は必須、複数可)		

お問合せ 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 事務局（〒951-8063 新潟市中央区古町7番町1010番地）
電話：025-201-8901 FAX：025-201-8902 メール：info@niigata-award.jp
ホームページ：https://www.niigata-award.jp

※「食の新潟国際賞」は新潟県・新潟市の補助金を受けて実施しています。